第45回全道自治労野球大会ニュース

編集・発行　大会実行委員会事務局教宣班
２０１１年８月５日発行（第１号）

全道各地から参加された選手・役員のみなさん、ようこそ函館・北斗へ！

地元実行委員会では、みなさんの熱戦の様子を、独自のニュースを作成してお届けしていきます。

いよいよ開会式

８月５日（金）午後３時から、北斗市総合文化センター（通称かなでーる）において、開会式が行われました。全道各地から28チーム約500人が参加し、来年の全国大会出場権をかけて熱気一杯でした。

開会にあたり、自治労北海道本部を代表して藤盛副委員長よりあいさつがありました（左写真・山上委員長は公務のため欠席）。

「大会開催にあたり、自治体・関係各位に地元ご尽力いただいたことに礼申し上げる。明日の天気は概ね良好のようであり、選手各位のご練習の成果をぜひ発揮してもらいたい。」

続いて開催地函館市職労・長谷川委員長より「29年ぶりの全道大会となり迷惑をかけるかもしれないが、何とぞご了承願いたい。」と明日から始まる甲子園での高校野球に負けないよう、熱戦を繰り広げてください」と挨拶がありました。

開催地市長も歓迎

当日は開催地函館市長・樹賓寿来も函館市長と函館市の野球ブームを最古の縁深い部活動を通じた交流を深めるとの観点から、「函館市は、北斗市は、新函館駅が成田支部長の自治体誕生４年後に併せ、新函館市の発展を祈り、北海道新幹線の函館・北斗間の開通を目指す」と述べました。

工藤市長

高谷市長

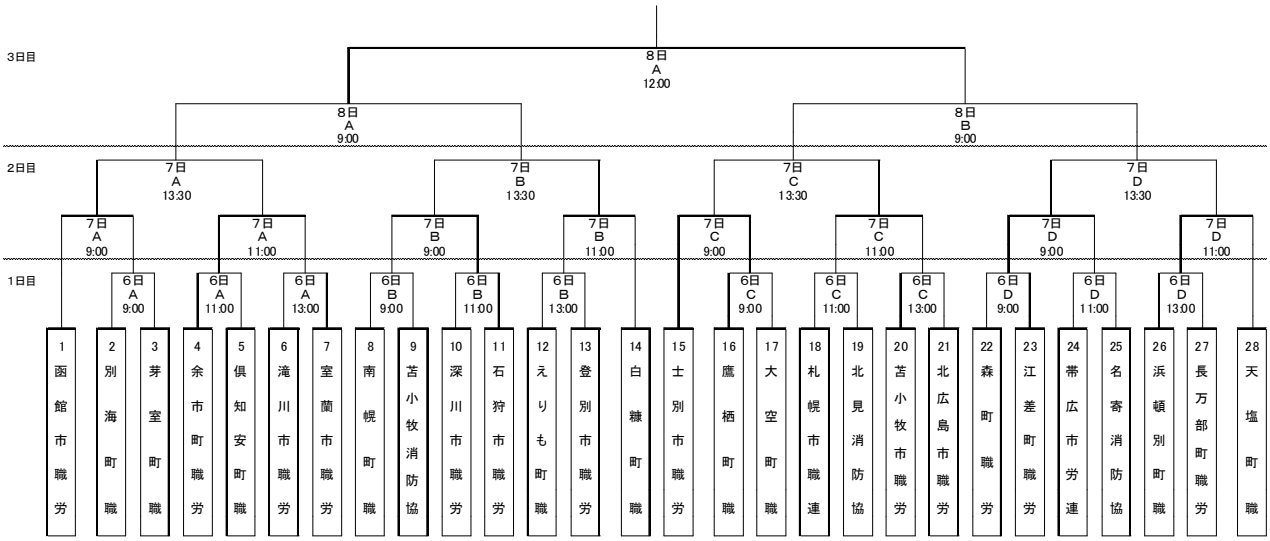
なでしこに負けない!?

謙治主将が、「函館市職員釣谷の代表として、地域の発展に向け、自覚と責任を持って、被災された東北地方の人々とともに、パンづくりを通じて、被災された東北地方の人々とともに、パンのように粘り強くプレーすることを誓います」と力強く宣誓しました。

なんと昨年の決勝戦が！

開会式終了後、組み合わせ抽選会が行われ、対戦相手が決定しました。

この中でも、昨年優勝の苫小牧消防協と、同じく準優勝の南幌町職労とが初戦で対戦するなど、いずれも屈指の好カードとなりました。

各チームは、翌日から試合に向け、作戦立案に余念がありませんでした。

大会組み合わせ